スミ版=DIC2494　アイ版=DIC F28　23-100-100-0　100-54-0-0

1 恋する女たち

©1986東宝

監督・脚本=大森一樹｜原作=氷室冴子

1986(S61)◉東宝映画◉カラー◉1時間38分◉撮影=宝田武久◉音楽=かしぶち哲郎◉美術=村木与四郎
出演=斉藤由貴、高井麻巳子、相楽ハル子、柳葉敏郎、菅原薫、小林聡美、原田貴和子

❖金沢の女子高校生三人の恋愛模様を鮮やかに綴った名作。恋に浮き立つ乙女心をいきいきと弾むように演じる天真爛漫な斉藤が輝く。

2 おいしい結婚

©1991東宝

監督・脚本=森田芳光

1991(H3)◉東宝=サンダンス・カンパニー◉カラー◉1時間49分◉撮影=前田米造◉音楽=野力奏一◉美術=今村力
出演=斉藤由貴、三田佳子、唐沢寿明、田中邦衛、小林稔侍、橋爪功、入江若葉

❖未亡人の母は娘に結婚を急かすが…。小津監督にオマージュを捧げた森田流ホームコメディ。理想の結婚ですれ違う三田と斉藤の母娘が愉しい。

3 はいからさんが通る

©東映

監督=佐藤雅道｜原作=大和和紀

1987(S62)◉東映◉カラー◉1時間30分◉脚本=西岡琢也◉撮影=大町進◉音楽=萩田光雄、大谷和夫◉美術=高橋章
出演=南野陽子、阿部寛、田中健、柳沢慎吾、松原千明、風見章子、野際陽子、丹波哲郎

❖大正時代を舞台に、じゃじゃ馬娘の恋と冒険を描いた青春篇。人気コミックの実写映画化で南野が歌う主題歌も大ヒット。阿部寛の映画デビュー作。

4 どっちもどっち

©TOHO CO., LTD

監督=生野慈朗

1990(H2)◉東宝=フィールド・ハウス◉カラー◉1時間47分◉脚本=鎌田敏夫◉撮影=前田米造◉音楽プロデューサー=恒川光昭◉美術=和田洋
出演=明石家さんま、松田聖子、沢口靖子、布施博、森口博子、定岡正二、イッセー尾形

❖さんまが浮気者のテレビマンに扮したラブコメ・ファンタジー。バラドルとして頭角を現し始めた森口が、出番は少ないが強烈な印象で登場。

5 トットチャンネル

©1987東宝

監督・脚本=大森一樹｜原作=黒柳徹子

1987(S62)◉東宝映画◉カラー◉1時間37分◉撮影=五十畑幸勇◉音楽=かしぶち哲郎◉美術=薗谷和夫
出演=斉藤由貴、高嶋政宏、渡辺典子、網浜直子、村上里佳子、植木等

❖相性抜群の斉藤と大森監督が組んだ二作目は、テレビ草創期の若者たちの奮闘記。原作の黒柳役の斉藤が喜劇女優の才能も存分に発揮する。

6 波の数だけ抱きしめて

監督=馬場康夫｜原作=ホイチョイ・プロダクションズ

1991(H3)◉フジテレビジョン=小学館◉カラー◉1時間44分◉脚本=一色伸幸◉撮影=長谷川元吉◉音楽監督=杉山卓夫◉美術=山口修
出演=中山美穂、織田裕二、松下由樹、別所哲也、阪田マサノブ、勝村政信

❖小麦色に日焼けしたミポリンがヒロインの“ホイチョイ・ムービー”第3弾。湘南のミニFMラジオ局を舞台にした甘酸っぱい青春群像劇。

7 修羅場の人間学

©東映、東北新社、東映ビデオ

監督=梶間俊一｜原作=森田雅

1993(H5)◉東映=東北新社=東映ビデオ◉カラー◉1時間49分◉脚本=岡部耕大、掛札昌裕◉撮影=東原三郎◉音楽=小林靖宏◉美術=桑名忠之
出演=高嶋政伸、南野陽子、的場浩司、布施博、桐島かれん、湯江健幸、原田芳雄

❖戦後の渋谷で安藤昇が率いた組の若者たちを描いた異色の青春グラフィティ。アイドルから本格派女優へと転身した南野の体を張った熱演は圧巻。

8 ゴジラVSメカゴジラ

©1993東宝

監督=大河原孝夫｜特技監督=川北紘一

1993(H5)◉東宝◉カラー◉1時間47分◉脚本=三村渉◉撮影=関口芳則◉音楽監督=伊福部昭◉美術=酒井賢
出演=高嶋政宏、佐野量子、小高恵美、原田大二郎、中尾彬、佐原健二、高島忠夫

❖対ゴジラ用最終兵器“メカゴジラ”とゴジラの闘いを描くシリーズ20作目。武豊との結婚を機に引退した佐野の可憐なヒロインぶり!

9 雪の断章　情熱

©1985東宝

監督=相米慎二｜原作=佐々木丸美

1985(S60)◉東宝映画◉カラー◉1時間40分◉脚本=田中陽造◉撮影=五十畑幸勇◉音楽=ライトハウスプロジェクト◉美術=小川富美夫
出演=斉藤由貴、榎木孝明、世良公則、河内桃子、レオナルド熊、岡本舞

❖殺人事件に巻き込まれる孤児の少女を演じた斉藤の映画デビュー作。相米監督独自の演出と体全体で表現する斉藤の熱演が心を騒がせる。

10 行き止まりの挽歌　ブレイクアウト

©日活

監督=村川透｜原作=栗本薫「行き止まりの挽歌」

1988(S63)◉にっかつ◉カラー◉1時間51分◉脚本=柏原寛司◉撮影=矢田行雄◉サウンドアドバイザー=鈴木清司◉美術=中澤克己
出演=藤竜也、石野陽子、村上弘明、成田三樹夫、一色彩子、岡本舞、石橋蓮司

❖手段を選ばず殺人事件を追うアウトロー刑事を描く傑作ハードボイルド。アイドル歌手の面影を捨てた石野が、影のある孤独な少女を好演。

11 東京日和

©フジテレビジョン／バーニングプロダクション

監督=竹中直人｜原作=荒木陽子、荒木経惟

1997(H9)◉フジテレビ=バーニングプロダクション◉カラー◉2時間1分◉脚本=岩松了◉撮影=佐々木原保志◉音楽=大貫妙子◉美術=中澤克巳
出演=中山美穂、竹中直人、松たか子、鈴木砂羽、浅野忠信、田口トモロヲ

❖写真家の荒木経惟と妻・陽子の自伝的エッセイを原案に、風変わりな夫婦の日々を綴った純愛物語。奇跡のように儚く美しい中山美穂が忘れられない。

2025年6月28日㊏～7月18日㊎・19日間

★全て35mmフィルムでの上映となります。　各回完全入替制

土日祝	11:00	13:15	15:30	17:45	
平　日	12:00	14:15	16:30 ★夕暮れ割(平日のみ)	19:15	終映時刻 ↓
6月28日[土]	1◉恋する女たち	2◉おいしい結婚	3◉はいからさんが通る	4◉どっちもどっち	19:32
6月29日[日]	2◉おいしい結婚	3◉はいからさんが通る	4◉どっちもどっち	1◉恋する女たち	19:23
6月30日[月]	3◉はいからさんが通る	4◉どっちもどっち	1◉恋する女たち	2◉おいしい結婚	21:04
7月 1日[火]	4◉どっちもどっち	1◉恋する女たち	2◉おいしい結婚	3◉はいからさんが通る	20:45
7月 2日[水]	1◉恋する女たち	2◉おいしい結婚	3◉はいからさんが通る	4◉どっちもどっち	21:02
7月 3日[木]	2◉おいしい結婚	3◉はいからさんが通る	4◉どっちもどっち	1◉恋する女たち	20:53
7月 4日[金]	1◉恋する女たち	2◉おいしい結婚	3◉はいからさんが通る	4◉どっちもどっち	21:02
7月 5日[土]	5◉トットチャンネル	6◉波の数だけ抱きしめて	7◉修羅場の人間学	8◉ゴジラVSメカゴジラ	19:32
7月 6日[日]	6◉波の数だけ抱きしめて	7◉修羅場の人間学	8◉ゴジラVSメカゴジラ	5◉トットチャンネル	19:22
7月 7日[月]	7◉修羅場の人間学	8◉ゴジラVSメカゴジラ	5◉トットチャンネル	6◉波の数だけ抱きしめて	20:59
7月 8日[火]	8◉ゴジラVSメカゴジラ	5◉トットチャンネル	6◉波の数だけ抱きしめて	7◉修羅場の人間学	21:04
7月 9日[水]	5◉トットチャンネル	6◉波の数だけ抱きしめて	7◉修羅場の人間学	8◉ゴジラVSメカゴジラ	21:02
7月10日[木]	6◉波の数だけ抱きしめて	7◉修羅場の人間学	8◉ゴジラVSメカゴジラ	5◉トットチャンネル	20:52
7月11日[金]	7◉修羅場の人間学	8◉ゴジラVSメカゴジラ	5◉トットチャンネル	6◉波の数だけ抱きしめて	20:59
7月12日[土]	9◉雪の断章　情熱	10◉行き止まりの挽歌　ブレイクアウト	11◉東京日和	9◉雪の断章　情熱(18:00)	19:40
7月13日[日]	11◉東京日和	9◉雪の断章　情熱(13:30)	10◉行き止まりの挽歌 ブレイクアウト(15:40)	11◉東京日和(18:00)	20:01
7月14日[月]	〈設備工事のため休館します〉				
7月15日[火]					
7月16日[水]	10◉行き止まりの挽歌　ブレイクアウト	11◉東京日和	9◉雪の断章　情熱(17:10)	10◉行き止まりの挽歌　ブレイクアウト	21:06
7月17日[木]	9◉雪の断章　情熱	10◉行き止まりの挽歌　ブレイクアウト	11◉東京日和	9◉雪の断章　情熱	20:55
7月18日[金]	11◉東京日和	9◉雪の断章　情熱(14:30)	10◉行き止まりの挽歌 ブレイクアウト(16:40)	11◉東京日和	21:16

★作品名末尾の( )内の数字は上映開始時刻です。( )の無いものは日程表の上の通常時刻の上映開始となります。★一部の作品に画・音の不良箇所がありますことを予めご了承ください。

当日入場料金=一般￥1400/シニア￥1200/学生￥1000
各種割引=水曜サービスデー・夕暮れ割(平日3回目のみ)・誕生日割(要身分証提示)=一般/シニア￥1100

有料入場5回で1回無料の、お得なポイントカードサービス実施中!

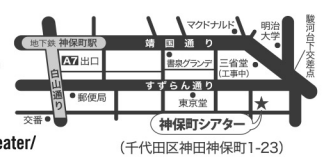
◉自由席定員制(99席) ◉整理番号制 ◉各回完全入替制

● 1階チケット売り場にて整理番号付き入場券を販売いたします。(当日分のみ。販売開始:土日祝10:00、平日11:00) ● 開場は各回10分前を予定しております。● 上映開始後10分を過ぎてのご入場はお断りします。● 混雑状況によってはご入場いただけない場合がございます。● 販売後の変更、取り消しはできません。

小学館グループ
神保町シアター JINBOCHO THEATER

地下鉄神保町駅A7出口3分/JR御茶ノ水駅御茶ノ水橋出口8分

Tel.03-5281-5132　https://www.shogakukan.co.jp/jinbocho-theater/



(千代田区神田神保町1-23)